

作法1 人のスケール感に合った秩序ある街なみづくり

建物の空間構成や外壁のデザインを工夫すると、人のスケール感に合った秩序ある街なみをつくることができます。

■現代の街なみの魅力を高めるための基本の作法

①街なみは2階までの外観でつくる

低層部(1、2階)と中高層部(3階以上)で建物のデザインを切り替えることによって2階までの外観で街なみをつくり、3階以上は空と調和するような外観にすると、宿場町のスケール感をつくり出すことができます。また、1階と2階の間に高さをそろえた軒やはり出し等を設けることが効果的です。

②間口が広い場合の分節化

間口の広い建築物は、分節化することにより、長大感を減らせます。

③バルコニーと外壁のデザインの一体化

開口部やバルコニーを設ける際は、建物のフレームの中に組み込んで一体化させるなどすると、外壁面を整えることができます。また、一体化したバルコニーは、物が落下しにくい形態でもあります。



意匠や色彩の変化により、2階までの外観を強調し、3階以上の部分と区別しています。間口も柱によって分節化されています。



外壁の構成要素として一体的にデザインされたバルコニー

■和の街なみを意識した応用の作法

①軒・庇、フレームや開口部等の工夫による和のデザインを活用した街なみの演出

和の軒・庇や伝統工法の軸組をイメージしたフレームの強調などによる分節化を行ったり、開口部に、格子などを用いることによって、和の知恵を活かして街なみを整えられます。



和の庇を用いた事例



格子などを用いた開口部の事例



軒・庇を用いた駐車場の修景

※格子は街道を通る人の目線と直角になる縦格子を用いるとプライベート空間を効果的に隠すことができます。格子の間隔は建物の使い方により適度なものを選択することが効果的です。